

## 地域間交流・観光交流等内外交通の推進

～ 住民生活の利便性向上、地域経済の活性化等に資する地域間交流を支援する道路整備

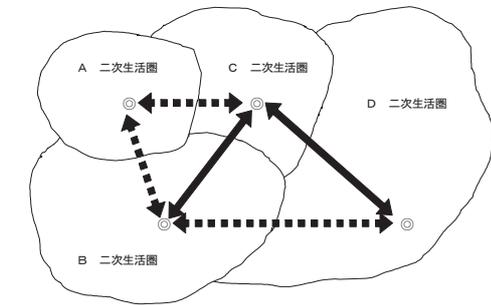
### (1) 指標の動向

#### ■ 住民生活の利便性の向上、地域経済の活性化等を図る

住民生活の利便性の向上、地域経済の活性化等のためには、地域間を結ぶネットワークの整備が重要であり、隣接する地域の中心の都市を結ぶルートである「地域間交流ルート」の重点的な整備が必要。

#### ■ 平成15年度は地域間交流ルートの整備の目標を概ね達成

平成14年度初期値72%から、平成15年度目標値73%（新たに6ルート改良）の目標に対し、実績値73%（新たに5ルート）に向上。



※対象ルートは二次生活圏間の最短ルート  
 ◎ 二次生活圏中心都市  
 道路改良済みルート  
 道路未改良ルート

上図の場合、交流ルートの確保率40%  
 全5ルート中、2ルート確保

【隣接生活圏を結ぶルート概念図】

### (2) 達成度報告(昨年度の成果)

#### ■ 新たに5つの地域間交流ルートを整備

平成15年度は、2次生活圏の中心都市8市1町に関連する「地域間交流ルート」について、新たに5ルートの整備を完了したことにより、地域を結ぶルートの走行性、安定性を高め、通勤、通学、医療、福祉、防災、観光支援等生活の利便性の向上が図られた。

全国では、「地域間交流ルート」が72%（522ルート）から73%（527ルート）まで向上が図られた。

### (3) 業績計画(今後の取り組み)

#### ■ 平成16年度も引き続き住民生活の利便性の向上、地域経済の活性化等を図る

平成16年度は、新たに6ルートの「地域間交流ルート」について重点的に整備を促進し、全国で74%（533ルート）を確保することを目標としている。

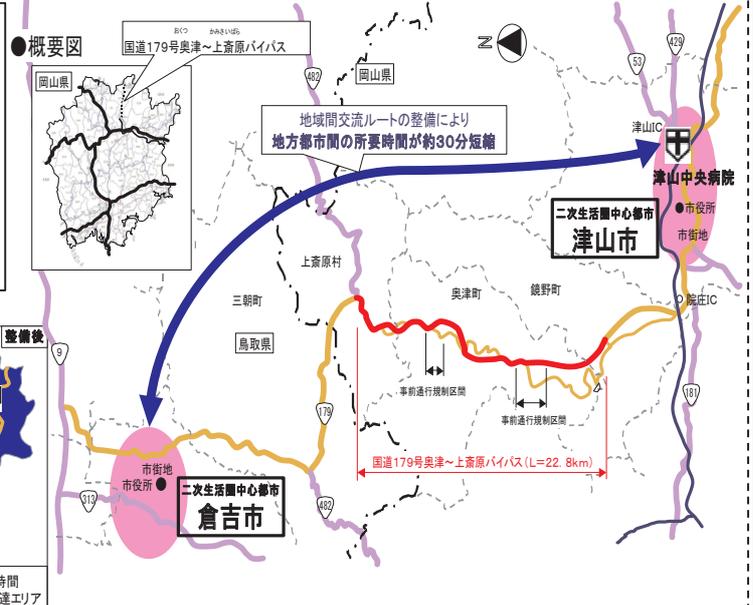
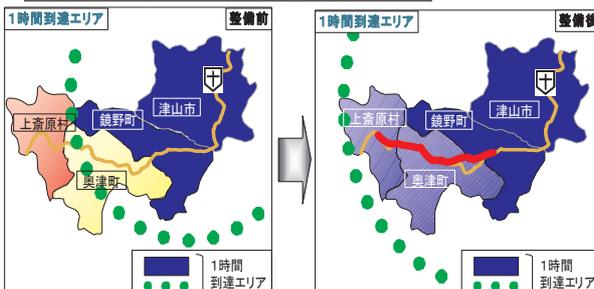
H14 実績	H15 目標	H15 実績	H16 目標	H19 目標
72%	73%	73%	74%	約77%

#### ■ 中国地方での整備事例(平成15年度)

##### ● 整備効果

鳥取県倉吉市と岡山県津山市間を連絡する一般国道179号奥津～上斎原バイパスの整備により、線形不良、隘路区間、事前通行規制区間が解消され、安全で安心して通行できるルートとなるとともに、両市間の所要時間は約30分短縮された。また、上斎原村及び奥津町は、三次医療施設（津山中央病院）からの1時間圏域となり、質の高い医療サービスの享受が可能となった。  
 ※事前通行規制区間の解消はH17年度を予定

##### 三次医療施設への1時間到達エリアの拡大



担当：道路局 国道・防災課